

「日本メディカルイラストレーション学会雑誌」投稿規定

第1条 メディカルイラストレーション（以下「Mi」と略す）に関する研究、制作法や活用法、教育法の開発と評価、実践の報告などについての原稿を募集している。投稿は本会の会員が筆頭者であるものに限るが、編集委員会が特に認めた場合は非会員からの論文等も掲載できるものとする。

第2条 投稿原稿と依頼原稿の記事類別、内容と文字数は以下の通りとする。ただし文字数については、編集委員会が必要と認めた場合はこの限りではない。

投稿・依頼の区別	記事類別 (括弧内は英文原稿の表現)	内容	文字数
投稿原稿	論文 (Research Paper)	Miに関する研究結果など	8,000 ~ 16,000
	研究ノート (Research Note)	論文に準じ、速報性があり部分的にでも得られた研究結果、調査結果など	12,000 以内
	製作ノート (Note)	作品の製作や活用における新規性のある工夫や探求の結果など	12,000 以内
	実践報告 (Practical Report)	Miの医学研究・臨床への使用、教育・広報活動、他学会や団体との交流活動などから得られた成果について、一般化には至らないが、定性的・定量的に述べたもの	12,000 以内
	資料 (Data)	①Miに関し記録にとどめるべき資料や情報、②本会の委員会・部会からの報告、③会員にとって有用な情報などをまとめたもの	8,000 以内
	会員の本、書評 (Introduction or Review of Book)	会員の著作紹介、Miに関する著作の評論・紹介	2,000 以内
投稿原稿・ 依頼原稿	作品発表 (Presentation of work)	Miに関する作品画像を提示し、医学的説明や制作過程の工夫、表現意図を述べたもの	300以上 (2頁以内)
	論壇 (Column)	Miに関して意見や主張などを述べたもの	8,000 以内
	随筆 (Essay)	Miに関する主題について、感想や経験談を述べたもの	8,000 以内
	展望 (Overview)	Miに関して最近の進歩や将来の予測について広い視野に立って述べたもの	8,000 以内
	解説 (Interpretations)	Miに関する主題について、会員の啓発に役立つように平易に説明したもの	8,000 以内
	講座 (Course)	①Miに関する技術、手法などについて客観的に説明したもの、②表現に資する視点から、医学・医療について平易に説明したもの	8,000 以内
	座談会 (Round Table Discussion)	Miに関する主題について、複数の主張や意見を記録したもの	8,000 以内
	会員の声 (Member's Voices)	本会の事業などに対する提言などを述べたもの	4,000 以内

- 第3条 原稿は、ワープロソフトによるデジタルデータとし、わかりやすい日本語または英語で作成する。投稿は以下のアドレス宛てにメールにて行う。
原稿の受信後、編集事務局において書式を確認したのち、受付の通知を行う。また査読審査を行い、必要に応じて著者照会を行う。本誌への掲載が決定した段階で、その旨を通知する。
JSMi学会誌投稿アドレス：jjmi@herusu-shuppan.co.jp
- 第4条 原稿は未発表のものに限り、二重投稿を禁じる。
- 第5条 掲載論文の著作権は日本メディカルイラストレーション学会に帰属する。
- 第6条 他の文献等から文章、図、表をそのまま転載する場合は、必ず著作権者及び出版権者から書面による許可を受ける。また挿図には「執筆者撮影」等を含め出典を明記する
- 第7条 編集委員会は、投稿論文の内容に応じて、当該分野または隣接分野を専攻する会員から、2名の査読委員を委嘱する。また必要に応じて、会員以外の研究者に査読を委嘱することもできる。
- 第7条 著者には、本誌に掲載された論文等のPDFファイルを希望により渡す。
- 第8条 本誌は原則として年1回以上発行する。
- 第9条 この規定を改廃するときは、編集委員会の議を経るものとする。

日本メディカルイラストレーション学会 編集委員会
(2017年8月7日 決定)

原稿を執筆される著者への情報

1：原稿は以下の順序で書く。

	表題	著者名	所属	キーワード (5語)	和文要旨	本文	文献	イラストレーション・ 写真・図表	写真などの 説明文	英文の表題・ 著者名・所 属・要旨
論文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研究ノート・制作 ノート・実践報告	○	○	○	×	記載が望 ましい	○	○	○	本文中記載 も可	×
その他	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×

2：投稿テンプレート使用時には図版を原稿に貼り付けると共に、オリジナルのデータを投稿アドレスのメールに添付すること。（業者がレイアウト原稿を作成する際に使用）

3：図版の画像デジタルデータは長辺1000pixel以上とする。なおイラストレーション・写真・図表の数量と大きさは、投稿者の意向を尊重しつつ、編集委員会が決定する。

4：引用・参照文献は文中に引用する順番に一連の番号を付ける。本文中では文献番号のみを該当箇所の右肩に上付き文字で示す。文献リストは以下の順に書くこと。

雑誌の場合	著者名(3名まで)	表題	雑誌名	発行年(西暦)	巻	頁一頁
例 (和文)	森谷卓也：メディカルイラストレーション、病理と臨床 2016、34：310-311					

例 (英文)	David S. Goodwill : Cellular landscapes in watercolor. J Biocommun 2016, 40: 22-26					
書籍の場合	著者名(3名まで)	書名	(版数)	発行所	発行年(西暦)	頁一頁
例 (和文)	de la Flor M (著)、桜木晃彦 (翻訳) : メディカルイラストレーションハンドブック、ボーンデジタル 2005、100-120					
例 (英文)	Janice W. Crosby, John Cody : Max Brodel The man who put art into medicine. Springer 1991, 200-203					

5 : 原稿 (投稿・依頼) は、以下の観点・項目で評価されるので、あらかじめ示しておく。
すべての記事類別について該当する観点・項目

分野の妥当性	原稿の内容は本会で扱うものとして適当か。
記述の妥当性	原稿の位置付けは明確か。表現は正確か。理解困難な表現はないか。文献引用は適切か。
信頼性・倫理性	内容に矛盾や誤りはないか。論理の展開に無理はないか。医療倫理に反しないか。
医学的・医療的・公衆衛生的寄与	原稿の成果が医学・医療において有用か。効果の向上が期待できるか。

論文・研究ノート・製作ノート・実践報告について該当する観点・項目

独創性・新規性	新しい考え方、理論、実践、手段、事例などが示されているか。従来のものに、意義ある成果を付与しているか。
将来的発展性	得られた知見、手法等が医学・医療分野において将来的発展・拡大に寄与する可能性があるか。
完結性	まとまった成果が得られ、独立したものとして評価できる段階にあるか。医学・医療分野における効果について考察がなされているか。